

八王子市下水道事業経営戦略(素案)の策定に係るパブリックコメントの実施結果について

1 意見の提出状況

提出者数	意見の件数
8	8

2 意見の概要

(取りまとめの都合上、いただいた意見の趣旨を損なわない範囲で要約しています。)

意見の概要	市の考え方
人口減少に伴い下水道使用料の減少が予測されるが、使用料の値上げには賛成できない。そこで、これまで以上に国・都からの補助金を活用してほしい。また、受益者と負担者のバランスを保つため、起債の方法を検討してほしい。	建設改良事業等において補助対象となり得る事業については、国・都の補助金を優先して活用していきます。また、世代間での負担の公平性や負担の平準化を図るため、計画的な企業債の借入を図っていきます。
人口減少により下水道使用料が減少する一方で、老朽化が進む管路・下水道施設の維持管理費は増加していく見込みである。このような状況の中、職員には、災害時における対応も含め、持続可能な下水道事業を実現するため、業務に努めてほしい。	いただいた御意見を参考に、持続可能な下水道事業の実現に努めていきます。
経費回収率を100%に近づけるため、使用料の値上げ以外に回収率を向上させる方法はあるか。	下水道使用料の収入確保と維持管理経費の削減が方法としてあげられます。
人口減少により下水道使用料の減少が予測されるが、経営戦略を策定することにより、安定した下水道事業の実現を期待している。また、計画を策定して終わりにするのではなく、定期的に計画の見直しを行っていく必要があると思う。	経営戦略については、毎年度、施策の実施状況の評価、検証を行うとともに、5年毎に定期的な見直しを行います。
旧北野下水処理場の跡地について、市にとって有益な活用方法を検討してほしい。	いただいた御意見を参考にさせていただきます。
下水道施設は市民生活に必要な不可欠なものであるから、予防保全型の維持管理を行い、安全・安心な下水道事業を行ってほしい。	下水道施設の更新については、ストックマネジメント計画に基づき、リスク予測を行い効率的に点検・調査を実施し、調査結果を基に計画的な改築・修繕を行うことにより、ライフサイクルコストの低減と平準化に取り組んでいきます。
管路施設の老朽化が進み人口減少により下水道使用料が減少していく中であるが、下水道は市民生活に必要な不可欠なライフラインであるから、維持管理に支障が出ないようにしてもらいたい。	
30年間の長期見通しでは、行政人口、下水道使用料等は減少する一方、建設改良費や企業債は令和20年度以降、増加傾向にある。建設改良費・企業債については事業内容や規模を精査し、増加とならないよう努めてほしい。	